Civil 7

G7 市民社会コアリション 2023

G7広島サミットに向けた市民社会の活動

星野 智子

(一社)環境パートナーシップ会議　副代表理事
（G7市民社会コアリション2023 幹事団体）
hoshino@epc.or.jp

2023年2月22日（水）@高松市

1.G7サミットとは

G7サミット概要

- 毎年1回、「主要国」の首脳が集まり、経済・環境・保健・人道支援などの地球規模課題を議論し、意思決定の調整を行う非公式な政治フォーラム。

- カナダ、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリアおよびEUとゲスト参加国・国際機関によって構成される。

- 2023年は日本政府が議長国となり、5月19日（金）～21日（日）に広島で首脳会合を、日本各地で14の閣僚会合を開催。

- G7広島サミット公式ウェブサイト https://www.g7hiroshima.go.jp/

G7広島サミット

G7 2023 HIROSHIMA SUMMIT
ENGLISH
サミット情報
トピックス
文書・資料
動画・写真
取材情報
関係閣僚会合
リンク
G7 HIROSHIMA 2023
G7コンセプトムービーを再生する
動画説明へ →
About
サミット情報

G7エルマウサミット首脳宣言（2022年6月26-28日）

前文

持続可能な地球
- 気候・エネルギー
- 環境

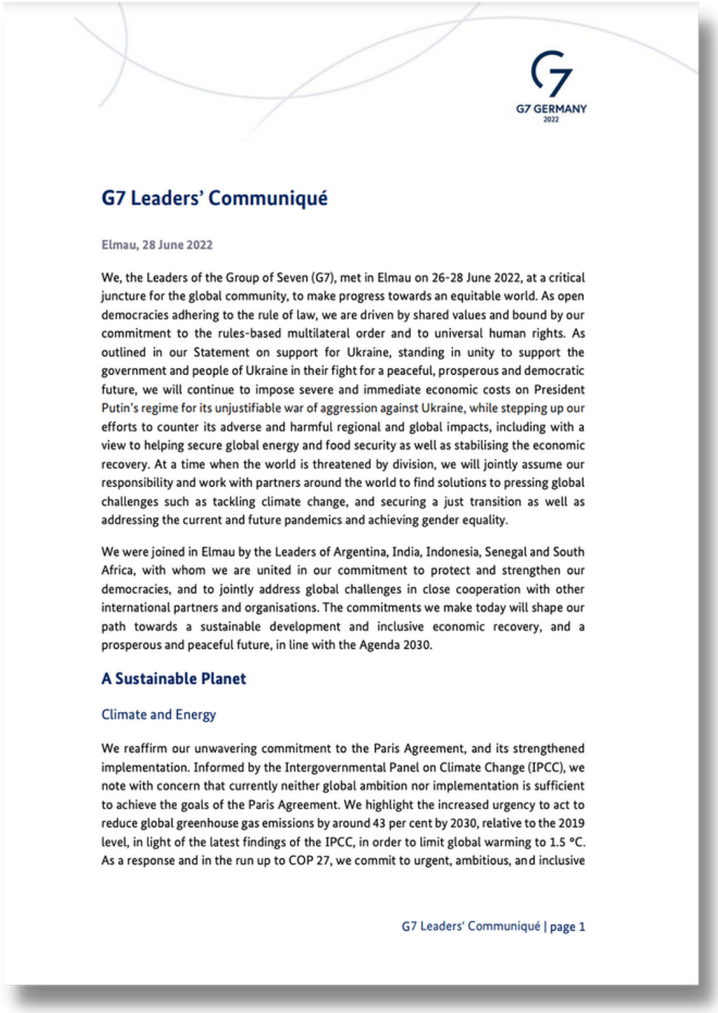
経済的安定及び変革
- 世界経済と金融
- 貿易・サプライチェーン
- 雇用及び公正な移行

健康な生活
- パンデミックに対する予防、備え及び対応
- グローバルヘルス・アーキテクチャー

より良い未来への投資
- 持続可能なインフラ
- 持続可能な開発

外交及び安全保障政策共により強く
- ジェンダー平等
- 過激主義、偽情報、外国の干渉及び腐敗
- デジタル化

結論



G7 GERMANY 2022

G7 Leaders' Communiqué

Elmau, 28 June 2022

We, the Leaders of the Group of Seven (G7), met in Elmau on 26-28 June 2022, at a critical juncture for the global community, to make progress towards an equitable world. As open democracies adhering to the rule of law, we are driven by shared values and bound by our commitment to the rules-based multilateral order and to universal human rights. As outlined in our Statement on support for Ukraine, standing in unity to support the government and people of Ukraine in their fight for a peaceful, prosperous and democratic future, we will continue to impose severe and immediate economic costs on President Putin's regime for its unjustifiable war of aggression against Ukraine, while stepping up our efforts to counter its adverse and harmful regional and global impacts, including with a view to helping secure global energy and food security as well as stabilising the economic recovery. At a time when the world is threatened by division, we will jointly assume our responsibility and work with partners around the world to find solutions to pressing global challenges such as tackling climate change, and securing a just transition as well as addressing the current and future pandemics and achieving gender equality.

We were joined in Elmau by the Leaders of Argentina, India, Indonesia, Senegal and South Africa, with whom we are united in our commitment to protect and strengthen our democracies, and to jointly address global challenges in close cooperation with other international partners and organisations. The commitments we make today will shape our path towards a sustainable development and inclusive economic recovery, and a prosperous and peaceful future, in line with the Agenda 2030.

A Sustainable Planet

Climate and Energy

We reaffirm our unwavering commitment to the Paris Agreement, and its strengthened implementation. Informed by the Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC), we note with concern that currently neither global ambition nor implementation is sufficient to achieve the goals of the Paris Agreement. We highlight the increased urgency to act to reduce global greenhouse gas emissions by around 43 per cent by 2030, relative to the 2019 level, in light of the latest findings of the IPCC, in order to limit global warming to 1.5 °C. As a response and in the run up to COP 27, we commit to urgent, ambitious, and inclusive

G7 Leaders' Communiqué | page 1

岸田文雄総理（2023年G7議長）演説（2022年6月28日記者会見）

「G7首脳が、広島の地から、核兵器の惨禍を二度と起こさない、武力侵略は断固として拒否する、との力強いコミットメントを世界に示したいと思います。また、普遍的価値と国際ルールに基づく、新たな時代の秩序作りをG7が主導していく意思を歴史の重みをもって示す。そうしたサミットにしたいと考えています。」

写真：ロイター

岸田文雄総理ビデオメッセージ（2023年1月4日発表）

「力による一方的な現状変更の試みや核兵器による威嚇、その使用を断固として拒否し、法の支配に基づく国際秩序を守り抜く」

「エネルギー・食料安全保障を含む世界経済、ウクライナやインド太平洋を含む地域情勢、核軍縮・不拡散、経済安全保障、また、気候変動、保健、開発といった地球規模の課題など、国際社会が直面する課題」

「次世代の若者たちや、そのまた次の世代の子供たちが、世界の課題に目を向け、行動する貴重なきっかけに」

岸田文雄総理「The Lancet」寄稿（2023年1月21日発表）

「G7広島サミット及びG7長崎保健大臣会合では、これまでのG7における議論踏まえ、人間の安全保障の重要性を強調しつつ、以下3つの分野に焦点を当てる。」

ア　公衆衛生危機のためのグローバルヘルス・アーキテクチャーの強化

新型コロナの教訓に基づき、健康危機に備えた政策、ガバナンス及び資金メカニズム等の強化が必要。

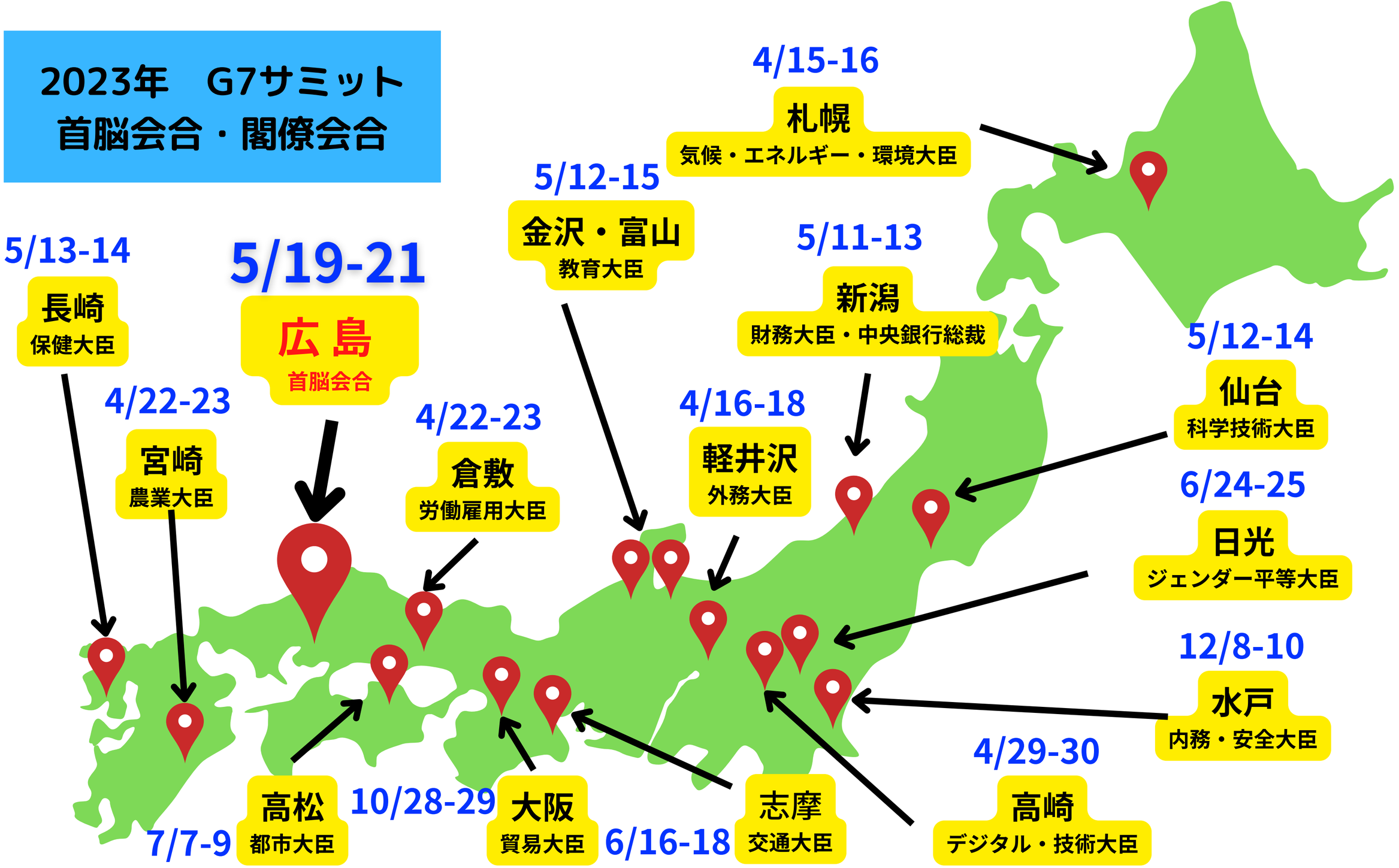
イ　ポスト・コロナの新しい時代に向けたUHCの推進

新型コロナで後退した感染症、非感染性疾患、母子保健、健康な高齢化を始めとする保健課題に効果的に対応する保健システムの強化が必要。

ウ　デジタル領域を含むヘルス・イノベーションの促進

パンデミック対応や現下の保健課題（薬剤耐性（AMR）等）のための研究開発を加速する必要。将来の健康危機が発生する前に研究開発に必要なインフラと能力を強化するとともに、健康危機に対する効果的な早期警戒に資する世界的なサーベイランスのネットワークの構築が必要。

2023年　G7サミット
首脳会合・閣僚会合



2.G7広島サミットに向けた市民社会の動き

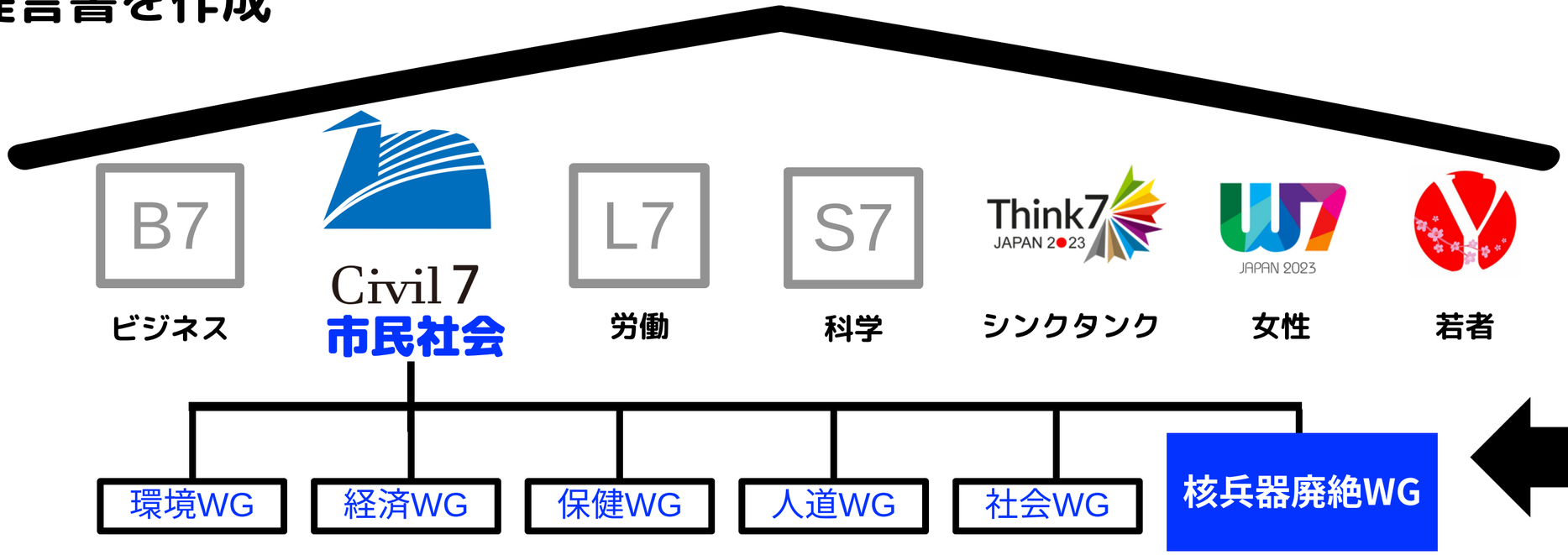
G7広島サミットに向けて
どんな活動をしたいですか？

G7広島サミットは「対話のチャンス」！

＊7つの「エンゲージメントグループ」
がG7に対して政策提言を行う

＊C7は6つのワーキンググループ（WG）
が政策提言書を作成

・首脳会合
・閣僚大臣会合
・シェルパ会合
・分野別作業部会



＊C7には
世界中の
市民社会が
参加

＊C7の事務局は
「G7市民社会コアリション2023」が務める

C7の活動

- 18名で構成される「運営委員会」で意思決定を行う。
- 分野別ワーキンググループ（WG）ごとに政策提言書を作成。
- 2023年4月13日（木）・14日（金）に「C7サミット」を開催し、G7議長を務める岸田文雄総理に政策提言書を手渡す。
- 必要に応じて、C7単独または他のエンゲージメントグループとの共同声明を発表する（国際保健、開かれた社会、LGBTQIA+およびSOGIESC）。
- G7広島サミット首脳会合で発表される首脳宣言の内容を分析・評価し、国際メディアセンター（IMC）でメディアに対して発信する。
- C7の活動を振り返り、評価を行う。
- 次期議長国を務めるイタリアの市民社会に対して引き継ぎを行う。
- C7の事務局は、「G7市民社会コアリション2023」が務める。

C7運営委員会（Steering Committee）

- G7各国の市民社会（フランス除く）と分野・地域ごとの代表18名で構成。
- 日本からは以下の3名が参加。
  - **木内 真理子**（ワールド・ビジョン・ジャパン　事務局長）
  - **松原 裕樹**（ひろしまNPOセンター　専務理事・事務局長）
  - **堀内 葵**（国際協力NGOセンター　シニアアドボカシーオフィサー）

Mariko Kinai
World Vision Japan

Hiroki Matsubara
Hiroshima NPO Center

Aoi Horiuchi
Japan NGO Center for International Cooperation (JANIC)

Anke Kurat
VENRO, Germany

Jürgen Maier
German Forum on Environment and Development

Zahra Bazzi
Arab NGO Network for Development (ANND)

Catherine Nyambura
Young Women Driving Change Collective

Neth Dano
ETC Group

Jean-Luc Simon
Disabled Peoples' International European Region

Emilia Reyes
Equidad de Genero

Valeria Emmi
GCAP, Italy

Carelle Mang-Benza
Cooperation Canada

Ben Bestor
Interaction, US

Sandra Martinsone
BOND, UK

Jamila Asanova
Asia Development Allian (ADA)

Harjeet Singh
Climate Action Network

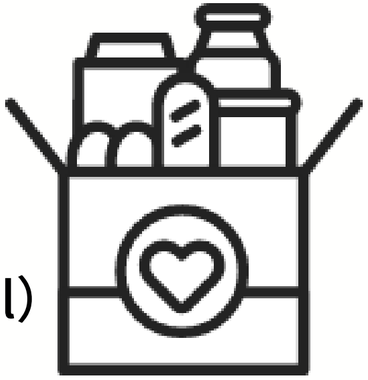
Patricia Miranda
Latindadd

Dereje Alemayehu
Global Alliance for Tax Justice

C7ワーキンググループ　国内・国際コーディネーター

気候・環境正義WG

遠藤理紗（JACSES）
Harjeet Singh（CAN International）



人道支援と紛争WG

柴田裕子（JPF）
Jeremy Wellard (ICVA)

公平な経済への移行WG

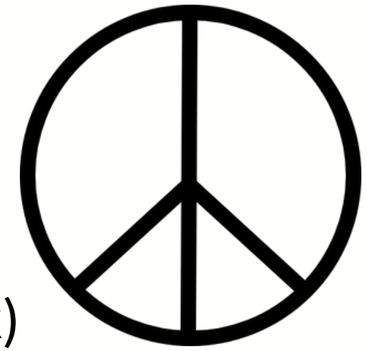
内田聖子（PARC）
Aldo Caliari（Jubilee USA）

しなやかで開かれた社会WG

小池宏隆（Greenpeace Japan）
Narayan Adhikari (Accountability Lab)

国際保健WG

稲場雅紀（AJF/GII）
Stefania Burbo (Global Health Italian Network)



核兵器廃絶WG

畠山澄子（ピースボート）
Susi Snyder（ICAN）

C7のプロセス

- 2023年1月、C7ウェブサイトにて分野別WG登録開始
- 1月から3月にかけて、各WGがオンライン会議を通じて政策提言書を作成
- G7シェルパとの面会および閣僚大臣会合への政策提言
- 4月13-14日、C7サミットにてG7議長にC7コミュニケ（政策提言書）を提出
- 5月19-21日、G7広島サミット首脳会合開催に合わせて、国際メディアセンター（IMC）で記者会見を実施
- 活動の振り返り・評価、C7イタリアへの引き継ぎ
- C7イタリアへの引き継ぎ

Civil 7

2023年

4月13日(木)・14日(金)

C7サミット開催！（東京＆オンライン）

ショルツ首相（中央）に政策提言書を手渡すC7運営委員（両端）
（2022年5月、C7サミットにて）

G7市民社会コアリション2023

設立日	2022年5月10日（火）
設立目的	本会は、2023年に日本で開催されるG7サミット首脳会議および関連閣僚会議に、市民社会の声が反映され、2030アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含むG7各国政府に働きかけることを目的とします。
共同代表	木内 真理子（特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン　事務局長） 松原 裕樹（特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター　専務理事・事務局長）
幹事団体 （計14団体）	アジア太平洋資料センター（PARC）／SDGs市民社会ネットワーク／「環境・持続社会」研究センター（JACSES）／環境パートナーシップ会議（EPC）／関西NGO協議会／国際協力NGOセンター（JANIC）／GII/IDIに関する外務省/NGO定期懇談会／持続可能な開発に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）／DPI日本会議／日本NPOセンター／PIECES／ピースボート／ひろしまNPOセンター／ワールド・ビジョン・ジャパン
監事	シャプラニール＝市民による海外協力の会
会員	団体会員（112団体）、個人会員（64名）　＊2023年2月7日現在
共同事務局	国際協力NGOセンター（JANIC）、SDGs市民社会ネットワーク
ウェブサイト	https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/

G7市民社会コアリション2023の活動

1.日本国内外の市民社会と協力したG7関連会合に対する政策提言
　→C7WGでの政策提言書の作成、大臣会合に向けた提言とりまとめなど
2.日本政府との面会およびサミット関連の情報収集
　→2022年6月・9月・12月に鈴木シェルパ、小野シェルパ、中村サブシェルパと面会
3.他のエンゲージメント・グループとの連携構築
　→W7との共同声明発表（LGBTQIA+、SOGIESC）
4.グローバルな市民社会が開催する「C7サミット」への協力
　→4/13（木）・14（金）開催、会場・プログラム・登壇者の調整
5.首脳会合開催地の市民社会との連携および「市民社会サミット」の開催
　→「G7広島市民サミット」（4/15-17開催）、全国CSOの情報交換会の開催
6.市民社会による活動の広報や啓発キャンペーン
　→ウェブサイト、各SNS運営、会員向け勉強会の開催、イベント登壇、記者会見など
7.その他、目的に資する活動
　→資金管理、報道採録、活動振り返り＆評価、イタリア市民社会への引き継ぎなど

G7広島サミットに向けた全国のNGO/NPOの動き

- 札幌：「G7・アースデイ 札幌オープンフォーラム」（4/15-16開催）
- 新潟：円卓会議「地域と世界を良くするお金の使い方」開催
- 志摩：交通大臣会合に向けた地域における「移動の自由」を考える（仮）
- 金沢・富山：不登校、子どもの権利条約などに関するアドボカシー（仮）
- 大阪：貿易大臣会合に向けた啓発勉強会（4/1開催）
- 岡山：労働雇用大臣会合に向けた市民社会の勉強会
- 広島：「G7広島市民サミット」（4/15-17開催）
- 高松：プラットフォーム「ローカルSDGs四国」を中心とした勉強会
- 長崎：保健大臣会合に向けた長崎大学・NGOによるオンライン勉強会（仮）
- 宮崎：農業大臣会合に向けたオンライン勉強会（3/22開催）

G7 Hiroshima Voices（仮称）

～ G7広島サミット2023に市民社会の声を届ける ～

みんなの企画書

2022年12月12日

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

企画者の想い　2022年7月23日 中国新聞

市民社会も対話・提言の出番

2023広島サミット

ひろしまNPOセンター事務局長
松原（まつばら）　裕樹（ひろき）

82年広島市安芸区生まれ。05年広島工業大環境学部卒。会社、米国NGO（非政府組織）勤務を経て12年特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター入職。17年から現職。内閣府認定の地域活性化伝道師。広島市西区在住。

「どうやって直すのか分からないものを壊し続けるのは、もうやめてください」

今から30年前、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミットで、当時12歳のセバン・スズキさんが各国の政府代表に呼びかけた。

来年5月に開催される広島サミットに、もし私たちの誰かが登壇できるとして、誰のために、どんな声を上げるだろうか。

NPO法人に携わる私は、環境や教育、防災、福祉、子育て、観光、まちづくりといった地域課題に取り組んできた。中国地方で活動し、全国と連携する機会も多い。

そんな縁で知り合った東京の一人から半年前、思いがけない電話があった。先進7カ国首脳会議（G7サミット）開催地が広島市になれば、市民社会の声を一緒に届けないかーというのである。

G7サミットは、米国や英国、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、日本の7カ国が中心となり、国際社会問題について話し合う場である。

ところが電話の主によると、サミットの際に政府だけでなく、世界中の市民社会組織が開催国に集まり、G7首脳との対話を通じ、提言する仕組みがあるらしい。

今年のG7サミットがあったドイツでも直前に市民社会組織の代表者が集い、〈人道支援と紛争〉〈経済正義と変革〉〈気候・環境の正義〉など5項目の政策提言書をまとめた。「G7サミット」を5月に催し、その提言書をG7サミット議長国ドイツのショルツ首相に手渡している。

「C」といえば、広島東洋カープを思い出すのが広島人のお決まりだが、こちらの「C」は「Civil Society（市民社会）」の頭文字である。

G7サミットの広島開催が決まり、中国新聞の紙面でも機運の高まりがうかがえる。世界が注目するこの機会は、経済面を含む波及効果への期待も大きい。加えて、先日の安倍晋三元首相襲撃事件の影響から、迎える側としての緊張感もより一層高まってくるに違いない。

何より、被爆78年を迎える広島の地で開催される意義は計り知れない。広島で生まれ育った私としては、核兵器の廃絶に向けた契機となることを強く望んでいる。

一方で、地球上には複雑かつ難解な問題があふれ返っている。貧困に格差、公衆衛生上の危機にひんする保健システム、地球温暖化に伴う気候変動、紛争、エネルギーと安全保障、ジェンダー平等、生物多様性の保全、子どもの権利や教育…と数え切れない。

世界のどこかで起こっているニュースではない。私たちの暮らしの中で起こっていることであり、解決の糸口は私たち市民の言動の中にある。

G7広島サミットで諸問題を解決する政策が合意され、地球全体の未来のためになる指針が決まるー。そんな機運や機会を促すのが、開催地の市民として一番のおもてなしではないだろうか。

今年5月に日本国内のNPOやNGO、個人が集まり、G7各国政府に働きかけを行うため、手をつなぐ組織「G7市民社会コアリション2023」を発足させた。その共同代表を私も務める。今後、国内外と連携し、G7をリードしていく活動を進める。

また、所属する「ひろしまNPOセンター」でも、世界と日本、広島の市民社会をつなぐ橋渡し役として、広島の皆さんとG7サミットに声を届ける機会をつくりたい。

世界中の市民が広島に集い、「核兵器のない持続可能な社会」づくりのための市民社会サミット開催を目指すため、各界各層からの賛同や協力をお願いしたい。

自治体や企業に勤めている人々、農林漁業者、商業者、教員、研究者、医療従事者、マスコミ関係者、スポーツ選手、芸能人、学生、子どもたち、みんな一人一人が市民である。

何年かに1度の選挙で1票を投じることも大事だが、実は政治に参加する機会は日常の中にも数々ある。ありたい未来社会を実現するため、国や地域、立場、世代の垣根を越え、市民社会の声をG7広島サミットに届けたい。

今を読む

G7 Hiroshima Voices（仮称）

目　的

G7広島サミットへの対話・提言を通して、

「核のない、誰ひとりとり残さない、持続可能な社会づくり」

を推進すると共に、

私たち市民社会組織の声を社会化する力を高める。

G7広島サミットを活かす３つの方針

- 市民にG7サミットや社会課題のことをわかりやすく伝える
- 広島の市民活動を活性化する・拡げる
- G7サミットに広島の市民社会からの提言を届ける

G7 Hiroshima Voices（仮称） アクションプラン

Action 1（案）

**地域・社会・世界の問題に対する私たちの取組について、
多くの市民・ステークホルダーに知ってもらう！**

（1-1）情報発信

ありたい未来に向けた私たちの行動や多くの人がG7サミットに参加できる機会について、情報をお届けする。

（1-2）キャンペーン

G7広島サミットの意義や参加方法を周知するため、多様なステークホルダーと連携してキャンペーンを実施する。

（1-3）市民社会文化の育成

G7サミットを契機として市民社会が成長していくために、新たな担い手、サポーター、ファン等を獲得して参加を促し、市民社会づくりの文化を育てる。

Action 2（案）

**ローカルとグローバルを繋ぐ視点から、
私たちの課題解決に向けた取組や仲間を広げる！**

（2-1）ワークショップの開催

G7サミットの主要課題テーマについて基礎知識を身につけるとともに、世界・社会・地域の課題解決に向けた学びあいや共創を育む。

（2-2）連携・支援体制の構築

国・地域・立場・世代の垣根をこえた参加を促進するため、NPO支援センターやネットワーク組織、助成機関等の連携・支援体制を構築する。

（2-3）政策コミュニケーション

政府にC7を認めてもらうことを通して、それらに繋がる活動についても、各地の自治体からの賛同や支援を促すコミュニケーションを図る。

Action 3（案）

**グローバル・ガバナンスを政府と市民社会の両面から構築することで、
核兵器のない持続可能な社会づくりを加速させる！**

（3-1）G7広島サミットへの提言

C7のワーキンググループ・サミットへの参加や提言を通して、G7サミットに市民社会の声を届け、よりよい政策決定を促す。

（3-2）市民社会サミットの開催

開催地である広島に日本全国・世界からの市民社会組織が集い、G7サミットの主要議題に関する意見交換や学びあい、今後に向けた関係構築を図る。

（3-3）日常の取組へのフィードバック

G7広島サミットに係る取組の結果やプロセスについて、その成果や課題について取りまとめを行い、それぞれの日常の取組や次なる関連サミットにフィードバックする。

G7 Hiroshima Voices（仮称） アクションプラン

「G7 Hiroshima 市民社会サミット（仮称）」企画（案）

【目　　的】 G7サミットの首脳会合の開催地である広島に全国・世界からの市民社会組織やステークホルダーが集い、G7サミットの主要議題に関する意見交換や学びあい、今後に向けた関係構築を図る。

【目　　標】 ※具体的な獲得目標は要検討！

【日　　時】 2023年4月前半の金・土・日曜日あたり（2日間程度を想定）
※従来であれば首脳会合の直前に開催してきたが、5月に広島市内で大きなイベントは開催が難しい。
※C7サミットはおそらく4月後半に東京でハイブリット開催の予定（現在、外務省と調整龍）、市民社会サミットでの成果をC7サミットに繋げることが可能。

【場　　所】 広島市内の大規模会場（国際会議場など）
※会場予約や費用については、広島県・広島市に支援を要相談！

【対　　象】 ○広島県内でG7サミットに働きかけを行うNPO/NGO、個人
○G7市民社会コアリション2023会員（団体、個人）
○C7関係団体（7ヶ国をリードする市民社会組織）
○全国各地の閣僚級会合に関連する市民社会組織（NPO支援センター、分野別全国ハブ組織）
○広島県内・全国のNPO/NGO、NPO支援センター、関係機関
○市民社会組織のステークホルダー（行政、企業、ユース、大学、学校、研究機関ほか）
○C7以外のエンゲージメントグループ
○マスコミ（世界、全国、広島）

【主　　催】 ※実行委員会形式？ネットワーク組織の立ち上げ？関係団体の共催？など

【内容(案)】 ○C7の主要議題で扱えない社会課題を包括した「G7 Hiroshima 市民社会宣言（仮称）」の提言作成。
○G7サミットの主要議題に係るグローバルとローカルの問題、それに対するNPO/NGOの取組の情報交流や学び合い。
○市民が参加しやすいイベントや情報発信
○マスコミ・プレスセンターを通じた市民社会からの情報発信。

【備　　考】 ○SDGs市民社会ネットワークやJYPS（Japan Youth Platform for Sustainablity）等の団体から共催依頼あり。
○市民社会サミット含む活動予算については、資金調達が必要。
○市民社会サミットを4月に開催する場合、首脳会合の直前には別途企画（例えば、市民社会プレスセンターによる情報発信など）が必要かもしれない。

G7市民社会コアリション2023

HOME NEWS ABOUT COMMUNIQUE LETTER C7 STATEMENT JOIN US

2023年に日本で開催されるG7サミット首脳会議および関連閣僚会議に、市民社会の声が反映され、2030アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含むG7各国政府に働きかけることを活動目的とします。

世界中の市民社会組織が参加する**C7（Civil 7）**公式サイトはこちら。

NEWS　新着情報

「**G7**市民社会コアリション**2023**」の活動情報を随時更新しています

すべて　イベント　活動報告　政策提言　会員　メディア掲載　日本C7　EG　ドイツC7

LGBTQIA+の権利確保および「性的指向・性自認・ジェンダー表現・性的特徴」(SOGIESC)に対する差別撤廃の立法化に関するC7・W7共同声明を発出しました

2023年2月14日

2023年2月14日、Civil7（C7）は

C7サミットの日程が決定：2023年4月13日（木）・14日（金）@東京

2023年2月10日

今年のCivil7（C7）サミットの日程が次の通り決定いたしました。 日程：2023年4月13日（木）・14日（金） 場所：東京（オンライン配信あり） プログラム等

【メディア掲載】中国新聞：『想』松原裕樹（まつばらひろき）市民のC7サミット

2023年2月9日

2023年2月9日付の中国新聞のコラム『想』に、G7市民社会コアリション2023共同代表を務める松原裕樹（特定非

札幌での市民社会の動き

- 1/30と2/2に関心を持つ人たちによるオンライン会議が開催され、どのようなことができるか話し合い、以下の点について案が出されました。

◆北海道の環境課題、取り組み、意見を発信する場の設置

◆生物多様性を軸に、環境課題を共有、取り組み紹介、解決策の検討し、提案する

◆全道一斉ごみ拾い（生物多様性に関連づけた活動）

◆海外メディアとの交流

過去の環境大臣会合に向けた取組み ＠2008年洞爺湖サミット

- 兵庫県にて環境大臣会合開催
- NGO･NPO国際シンポジウムを開催
- タイトル;ひょうごから洞爺湖へ　持続可能な未来を目指して　－地球市民社会からのメッセージ－
- 日 時:2008年5月23日(金)
- 場 所:神戸国際会議場

過去の環境大臣会合に向けた取組み ＠2016年伊勢志摩サミット

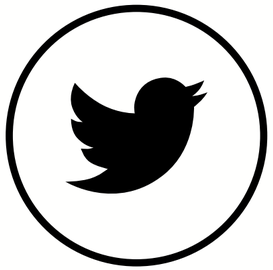
- 富山県にて環境大臣会合開催
- 「アースデイとやま（環境市民フォーラムとアースデイフェスティバル）」を開催
- 日 時：2016年5月14 日、15日
- 場 所：富山市内の会場と公園
- 環境市民宣言を作り、環境省に提出
- 現在「環境市民プラットフォームとやま」が活動中

アースデイフェスティバル
にて宣言文を発表

過去の環境大臣会合に向けた取組み @2019年G20

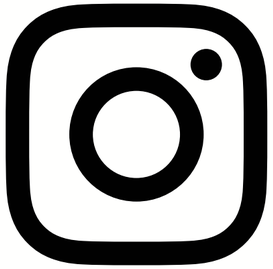
- 長野県にて環境・エネルギー大臣会合開催
- 「G20会合と市民SDGsタウンミーティング」を開催
- 日 時：2019年6月22日(土)
- 場 所：長野駅近くの市民ひろば
- 長野県NPOセンター主催

最新情報は「G7市民社会コアリション2023」の各種SNSで！



@G7CSO2023

@G7CSO2023



@G7CSO2023